

選択制DCセミナー開く

F.P.・保険 募集人対象に 保険との密接な関係強調



山中氏

確定拠出年金 (DC) の活用
でコスト削減や人事改
革を提案しているアセ

ット・アドバンテージ
は昨年12月18日、東京
都中央区の銀座風月堂
ビルで、F.P.や保険募
集人を対象に、選択制
DCセミナーを開催し
た。「ユニクロに学ぶ
! 戦略的人事制度」
と題し、山中伸枝社長
が公的年金・企業年金
の動向や、企業型DC
と選択制DCの概要、
特徴などについて解説
した。

返上・基金解散が進
み、また、適格退職年
金、退職金引当制度は
廃止となったことを受
け、現在では中小企業
退職金共済制度(中退
共)を導入している企
業が多い。こうした状
況を踏まえて山中氏は
「11年度末における中
退共の累積欠損金は約
1741億円となり、
予定利率の引き下げが
検討されていることか
ら、退職金制度の選択
肢としてDCが目ざ

れている」と強調。
企業型DCは、毎月
拠出する掛け金が企業
にとつては経費、社員
にとつては全額所得控
除になるほか、運用期
間の利息に税金が掛
からないなどの税制優
遇があるものの、企業
は掛け金拠出のために
新たな資金が必要で、
制度導入や維持のため
の費用が掛かるなどの
問題点を指摘。一方、
選択制DCは、従業員
が希望する拠出金を給

与から天引きして積み
立てるため、新たな資
金が不要なこと、社員
の給与を減額せずに社
会保険料の削減が可能
なこと、従業員の積み
立て意識が高まること
などを説明した上で、
「選択制DCは従業員
に活用の可否を選択し
てもらうため、給与等
級が変更するとも
に、雇用保険や厚生年
金の給付金が減額する
ことを十分に説明して
おくことが必要だ」と

強調した。
また、DCはライフ
プランニングや保険と
密接な関係があると
し、「ライフプランを
考える上では老後資金
は欠かせない問題で、
老後資金の貯蓄のため
に保険に加入する人も
いる。F.P.や保険募集
人資格を有するプロが
DCに関する知識を持
てば、顧客に付加価値
を提供できるのではな
いか」との考えを示し
た。